

「課題名：クリティカルケア病棟で開始・中止された薬剤の一般病棟転棟及び退院までの使用状況と経過の検討」について

○ 研究の意義・目的

クリティカルケア病棟（高度救命センター・ICU・HCU・SICU）では病状の安定化のための新たな薬剤が開始され、これまで継続されていた治療については一旦中止を余儀なくされる症例も少なくないです。クリティカルケア病棟から転出した後に病態に応じて適切に再評価されているかを明らかにするため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

2017年1月から2023年12月までに、広島大学病院のクリティカルケア病棟で治療を受けられた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は年齢、体重、性別、バイタル（血圧・脈拍数・呼吸数等）、血液検査（肝機能、腎機能、アルブミン等）、治療内容、薬剤投与歴などです。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間

委員会承認後 ～ 2025年12月31日（解析期間含む）

○ 個人情報の保護

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 電話：082-257-5579

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰（研究責任者）

薬剤師 檜山 洋子（研究担当者）